

平成27年度施策評価シート(平成26年度実施事業)			作成主管課	農政課
施策名	グリーンツーリズム	施策コード	関係課	
		2-2-2		

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	第2章 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産 業〕
	小政策	2 豊かな恵みを実感できる農林業を振興します
現況と課題		
近年、自然志向や価値観・ライフスタイルの多様化が進む中、自然環境や健康を優先し、真にゆとりある生活を楽しみたい人々の増加や、体験する観光ニーズの増大など、グリーンツーリズムへの関心がますます高まっています。また、都市農村交流産業は、農村住民の生きがいづくりをはじめ、農業生産環境の維持・創出や経済効果を担う新たな産業として期待されています。		
本市における都市農村交流の取り組みとして、笠間クラインガルテンを核に、地域特性を生かした自然や農業と親しめる環境整備を進め、笠間ファン倶楽部会員による体験作業の実施など、笠間の自然・里山・農地等の農村空間を活用した事業を展開してきました。		
また、多目的交流施設の設置や二地域居住者組織の結成などの機能強化や、大学生の農家受け入れ事業、梅の庭先販売・オーナー制マップの作成、観光との連携など、各種の資源を生かした新たな交流につながる取り組みを進めてきました。		
今後は、グリーンツーリズムの総合的な推進体制を整え、首都圏からのアクセスの良さと豊富な自然・文化を活用した体験交流事業の充実や、市民農園、農産物直売所のグレードを高めるような運営展開を進め、農林業を媒体に都市と農村の交流による地域活性化を図る必要があります。		
また、これらの交流により、二地域居住や定住に対応した受け入れ体制づくりなどを推進していく必要があります。		
施策目標		
グリーンツーリズムの総合的な推進体制を整え、豊富な自然と文化などを活用した体験交流事業の充実を図り、農林業を媒体に都市と農村の共生・対流による農業・農村の活性化を推進します。		

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	
-------------	--

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
都市と農村との交流により活性化が図られていると感じている市民の割合	市民実感度	23.210	26.160	29.380	26.190		
	加重平均値	2.079	2.137	2.195	2.158		
	市民実感度						
	加重平均値						
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		73.840	72.49	73		
	加重平均値		3.053	3.012	3		

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
体験農業者数(笠間クラインガルテン受付)	目標値	人		220	1,600	1,650	1,700	1,750
	実績値	人	200	1,587	1,865	1,965		
	達成度	%		721.36	116.56	119.09		
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							

数値指標の考え方	指標設定の考え方	グリーンツーリズムを推進することにより、都市と農村の交流を促進させ、地域農業の活性化を図ることを目的としている。事業を推進するため、課題を分析する上で必要とされる交流人口の目安とし、指数を設定した。
	目標値設定の考え方	体験農業者数は、原発事故の風評被害により大きく落ち込んだなかで設定をしたが、H24は予測を大きく上回り、事故以前に戻りつつある。今後も、PRに努め交流人口を増やしていくことを目標値として設定した。

2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。
	安全・安心な農産物の提供。 都市住民の受け入れ態勢の整備。 観光農園・農産物直売所のグレードアップ。 地産地消の推進。
市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。	
行政の役割	関係機関と連携した各種事務事業の展開。
	都市住民へのPR強化。

3 平成26年度の取組状況

取組内容と成果, 成果が得られた要因として考えられること。	
取組状況等	
	都市部を中心に、笠間市の体験できる農園や農業特産品などのPRイベントを17回、二地域居住者とともに開催し、都市住民との交流を促進させた。

4 施策の評価(現状分析)

○市民実感度指標と数値指標の分析による当該施策の位置	
領域Ⅰ 現状を維持しつつ、効率化を目指す領域	
領域Ⅱ 施策を構成する事務事業及び事業内容等を見直し市民実感度を高める必要のある領域	
領域Ⅲ 施策並びに構成する事務事業の必要性を検討する領域	
領域Ⅳ 施策の重点化を図り市民実感度を高める必要がある領域	
達成度 → 100	
指標を分析した結果施策目標は達成されたのか	
達成度評価	市外で行うPRのほか、市内においても農業体験や農産品のPRを行ったことにより、住民実感度の向上、体験農業者数の増加につながった。
施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か	
構成事務事業の適正性	施策目標を達成するためには、一つの手段にとらわれることなく、さまざまな手段を複合的に進めていかなければならず、各事務事業の相乗効果により、目標値を上回ることができ、適正な事業が行われた。
平成27年度以降に残る課題、その要因として考えられること。	
残された課題	都市住民のニーズの変化に迅速に対応できるよう、情報の収集や情報提供、環境の整備を行う。 体験農業等の総合的窓口の整備。 質の高い農業体験を提供できる人材・環境の整備。

5 今後の方向性

平成28年度に向けた施策方針	
取組方針	
	笠間市のもつ農業資源を活かした、交流の受入れ体制を整備するほか、都市部との相互交流による地域活性化の施策を展開する。

シート3－1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業		事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			貢献度評価
				成果指標	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
1	クラインガルテン事業	農業・農村の有する多面的機能を十分に発揮し、地域農業の活性化を図るため、クラインガルテンを核に都市と農村の交流を通じた豊かな農村づくりを目指す事業。管理運営は、指定管理者が行う。	維持管理事業	施設利用者数	組	99	96	95	市単独	1,089	1,089	1,089	1
2	グリーンツーリズム推進事業 (中学生農業体験事業)	将来を担う中学生が、農業体験を通じ健全な心身と豊かな人間性を育む。また農業の必要性及び作物に対する理解を高めてもらう事業。	政策的事業	体験農業発表会	回	4	=	=	市単独	420	=	=	事業終了
3	グリーンツーリズム推進事業 (二地域居住者活動支援事業)	本市に愛着をもち地域居住を実践する都市住民の地域貢献やボランティア意識を活用し、地域活性化及びグリーンツーリズムの推進を図る事業。	政策的事業	サポート倶楽部会員数 ボランティア参加回数	組 回	8 8	8 7	7 5	市単独	30	33	35	1
4	グリーンツーリズム推進事業 (体験農業支援事業)	クラインガルテンをはじめ観光果樹園、はたるの里など豊富な農村資源を有する本戸南指原地区において、更なる活性化及び交流人口の増大を図ることを目的にオープンした、会員制体験農園を支援する事業。	政策的事業	会員数	組	7	7	9	市単独	400	246	247	2
5	生き活き菜園はなさか事業	多様な住民ニーズに応えるため、市民農園を整備し利用促進することで、市民が気軽に栽培活動に取り組める環境づくりを行うとともに、耕作放棄地の有効活用を図る事業。	維持管理事業	利用契約区画数	区画	65	64	70	市単独	1,066	1,063	2,836	7
6	クラインガルテン整備事業	開園以来10年以上が経過し、老朽化した施設の修繕を行う事業。	維持管理事業	修繕件数	件	1	45	17	市単独	2,150	652	9,061	7
7	グリーンツーリズム推進事業 (グリーンツーリズム企画運営事業)	民間のノウハウを活かし、都市住民が笠間市内の豊かな農業資源にかかわりを持ち、笠間の良さ・楽しさ・素晴らしさを体感してもらい、都市と農村の交流を促進する事業。	政策的事業	参加者数	人	57	73	-	市単独	987	990	-	1
8	グリーンツーリズム推進事業 (空き家情報調査委託事業)	笠間クラインガルテンの利用経験者など、二地域居住希望者に対し、空き家の情報提供をするため、笠間南山地区を対象に空き家調査を実施する事業。	政策的事業	調査空き家件数	件	4	-	-	市単独	34	-	-	事業終了
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
事業費合計										5,876	4,073	13,268	

シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 グリーンツーリズム

施策目標に対する事務事業の意図	1	2	4
	3	5	7
	6	8	9

施策目標に一致している

施策の対象と概ね一致している

施策の対象と間接的(少数)である

施策の対象と事務事業の対象

法定受託事務(義務的事業に分類)

事務事業の成果基準の説明

成果基準については、施策目標の達成のために取り組む事務事業について、必要性和その効果をもとに分類した

施策名 グリーンツーリズム

